

# 亀田総合病院リハビリテーション科 専門医研修プログラム紹介



亀田総合病院リハビリテーション科  
宮越浩一



[http://www.kameda-resident.jp/senior/program/bk\\_etc07.html](http://www.kameda-resident.jp/senior/program/bk_etc07.html)

Ver3.3 2023年版

# 千葉県鴨川市



- 人口 約32000人 高齢化率約30%
- 羽田空港から1時間半(自家用車)
- 東京駅から約2時間(JR)

いなかだけど、  
ちょっとリゾート



# 亀田グループ

医療・介護・教育・生活に  
必要な事業を網羅

## ・医療法人 鉄蕉会

- ・ 亀田総合病院
- ・ 亀田リハビリテーション病院
- ・ 亀田森の里病院(厚木市)
- ・ 亀田クリニック
- ・ 亀田浜荻クリニック
- ・ 亀田京橋クリニック(東京都)
- ・ 幕張クリニック(千葉市)
- ・ 亀田ファミリークリニック館山(館山市)



亀田メディカルセンター  
医療法人鉄蕉会

## ・社会福祉法人 太陽会

- ・ 安房地域医療センター(館山市)
- ・ 介護老人保健施設たいよう
- ・ 特別養護老人ホームめぐみの里
- ・ そのほか



社会福祉法人 **太陽会**

## ・学校法人 鉄蕉館

- ・ 亀田医療大学
- ・ 亀田医療技術専門学校



**亀田医療大学**  
KAMEDA UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

# 亀田グループのシームレスな連携

急性期～回復期～生活期を  
グループ内で継続して診療可能

急性期: 安房地域医療センター  
生活期: 亀田ファミリークリニック館山

生活期: 介護老人保健施設たいよう

回復期: 亀田リハビリテーション病院

生活期: 亀田クリニック

生活期: 訪問看護(リハ)センター

急性期: 亀田総合病院

# 亀田総合病院

教育好きな、熱意あふれる指導医  
がたくさんいます

- リハ科プログラム基幹病院

- 急性期病棟917床

- 34診療科

- 基幹型臨床研修病院

- 初期研修医採用24名/年

- 後期研修基本領域15プログラム

他科医師にも  
色々相談でき  
ます



# 亀田リハビリテーション病院

安藤忠雄設計

- 連携病院
- 回復期リハ病棟56床
- 亀田総合病院と並行して研修



# リハビリテーション科専門医の現状と今後

# 診療科別施設数と専門医数

- 施設数上位の診療科（平成26年度→令和2年度）

- 内科 6838→6640施設

- リハ科 5362→5640施設

- 整形外科 4943→4902施設

- 外科 4683→4468施設

- 厚生労働省 医療施設調査・病院報告 令和2年度・平成26年度

診療科としては  
メジャー

リハ科は  
増加傾向

- 専門医数

- 日本外科学会 23000人

- 日本整形外科学会 19000人

- 日本内科学会 34000人

- 日本リハ医学会 2800人 →他の診療科と比較して少ない

専門医数は圧倒的に  
少ない

- おそらく多くの病院でリハ科専門医不在

療法士へのお任せ  
リハ？

# 当院のリハビリテーション部門運営

# リハ関連職種配置

	亀田総合 病院	亀田リハ 病院	安房地域 医療セン ター（館 山市）	亀田森の 里病院 （厚木 市）	亀田クリ ニック	その他 （診療所、 老健、訪 問など）	合計
リハ科医師	4	4	非常勤	非常勤	非常勤	不定期	8
PT	81	20	29	24	15	24	193
OT	13	7	4	0	3	2	29
ST	6	3	4	0	4	4	21
合計	100	30	37	24	22	30	243

# 亀田総合病院のリハビリテーション処方

- 年間合計8750件(2021年度)
  - 24件/日
  - 全入院患者の約40%にリハ処方

- 入院からリハ開始までの日数:2.0日(脳卒中)

比較的早期から  
リハ処方

- 患者数が多く、療法士数も多い

いかに効率的に  
対応するか？

# 一般的なリハビリテーション処方のがれ

## • リハビリテーション科医が処方する方法

- 利点
  - 適切なリハ処方による質の高いリハ医療
  - 安全、効果的・効率的にリハ治療がすすむ
- 欠点
  - リハ医が少ない場合（療法士が多い場合）、リハ医の負担大
  - 入院からリハ開始まで遅れる可能性

当院の処方数をこなすには  
業務負担大

## • リハビリテーション科医が不在の病院（結構多い）

## • 主治医（リハ科医以外）からの処方で直接療法士が診療開始

- 利点
  - 少ない人員でリハ部門が稼働（リハ科専門医の招聘は困難なことが多い）
- 欠点
  - 療法士へのお任せリハになる（担当者によるあたりはずれ）
  - ゴール設定や目的の不明確な治療（漫然とした治療になる可能性）
  - 在院日数延長
  - 合併症のリスク
  - 患者さんの不満足

治療品質上の  
問題

# 亀田総合病院のリハビリテーション処方のがれ

- 受け持ちの医師からリハビリテーション処方



- リハビリテーション科医師がカルテを確認
  - 合併症リスクのスクリーニング
  - ハイリスク患者は療法士向けにコメント



- PT・OT・STがベッドサイドを訪問して評価



- 初診記録作成
  - PT・OT・STが標準化された書式で記載



- リハビリテーション医が初診記録を確認
  - 問題がなければ療法士の初診記録を承認(カウンターサイン)
  - 気になる症例は担当療法士と相談するかカルテでフォロー
  - 必要に応じて診察



- カルテで経過観察
  - 診療過程で問題があれば療法士から相談

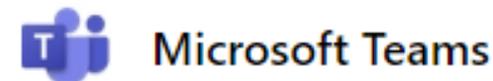
タスクシフトにより、  
診療の質を維持しつつ、  
リハビリテーション科医師  
の負担軽減



Microsoft365のツールも活用

療法士とのディスカッション

# Microsoft TEAMSの活用(院内)



- 初診スクリーニングの情報共有
- リハ科医 ⇔ 療法士の情報交換
- その他

ITによる効  
率化

# 当院のリハビリテーション品質管理

# 外部審査

PDCAサイクル  
による継続的  
な品質改善

- 診療の質を改善し続けることをめざす

- 診療プロセスの文書化と遵守
- モニタリングと改善

- ISO9001

- 国内の約1%の病院が取得
- 亀田総合病院：2001年取得



- JCI : Joint Commission International

- 国内では31病院が取得
- 亀田総合病院：日本初のJCI認証 2009年
- 亀田リハ病院：回復期病院として日本初の認証 2018年

日本初！



# 療法士教育

- 質が高いリハビリテーション診療のための療法士教育
  - 院内のみでなく、理学療法士協会の講習会として一部を対外的に公開
  - 研修プログラム連携病院と合同での講習会開催
- 規定の講習と試験をクリアした療法士には**タスクシフトの認定資格**(院内資格)授与



2022年度大幅  
アップデート!

新人研修  
毎年20~30人



チーム別  
勉強会

タスクシフト  
養成講習



# 病棟でのリハビリテーション

- 各フロアに練習スペース
- 早期からの安全な離床
- 多職種連携強化
- ほぼ全ての病棟に設置

効率と良好な  
コミュニケーション



# 関連病院(急性期・地域包括ケア病棟)の管理

- リハ科専門医は常勤せず
  - 月1~2回の非常勤
- 職員教育とプロセス管理
  - 療法士の教育も本院と同様
  - リハ部門の運用マニュアルは本院と同様
  - 療法士は事業所間をローテーション研修
- 安房地域医療センター
  - 館山市 149床
  - リハ処方件数 約2000件/年
  - 入院患者の約70%でリハ処方

リハ科専門医が常勤する施設と同レベルの診療品質をめざす



- 亀田森の里病院
  - 厚木市 62床
  - 地域包括ケア病棟



# 関連施設(介護保険関連)の管理

医療事業と同等  
の品質管理

- 入所、通所リハ提供
- 医療と介護もグループ内で密接に連携
- リハ科専門医は常勤せず
  - 不定期で訪問
- 高品質の生活期リハの提供をめざす
  - 職員教育とプロセス管理は医療事業と同等





# 亀田の研修プログラム

# 専攻医の日常業務

- 亀田総合病院(亀田クリニック含む)

- 急性期リハ処方管理
- 嚥下造影・嚥下内視鏡検査
- 装具検討・処方
- ボトックス注射
- 小児の座位保持装置検討・処方
- 筋電図検査
- 各種カンファレンス・回診

指導医の手厚い  
フォローあり

- 亀田リハビリテーション病院

- 入院患者担当
- カンファレンス
- 装具検討・処方
- 栄養サポート
- 患者・家族への説明
- 当直(多くはないです)

全身状態悪化の  
際には総合病院  
のフォローあり



# 定期的な回診・カンファレンス

- 総合病院新患カンファ(ほぼ毎日)
- 総合病院・訪問リハ合同カンファ(ほぼ毎月)
- 総合病院嚥下カンファ(毎週)
- 総合病院NSTカンファ(毎週)
- 総合病院NICUカンファ(隔月)

新生児～成人まで継続して  
障害児を診療できます  
(他では難しいと思います)

- 総合病院回診(週2回)
- リハ病院回診(毎週)
- リハ病院新入院カンファ(毎週)
- リハ病院定期カンファ(毎日)
- リハ病院NSTカンファ(毎週)

とくに栄養管理  
に力を入れています



# 勉強会など

- 定期的な勉強会
  - 専門医症例報告レビュー
  - 学会・研修会参加報告
  - そのほか自由研究
- その他

勉強会は主に  
勤務時間内に実施



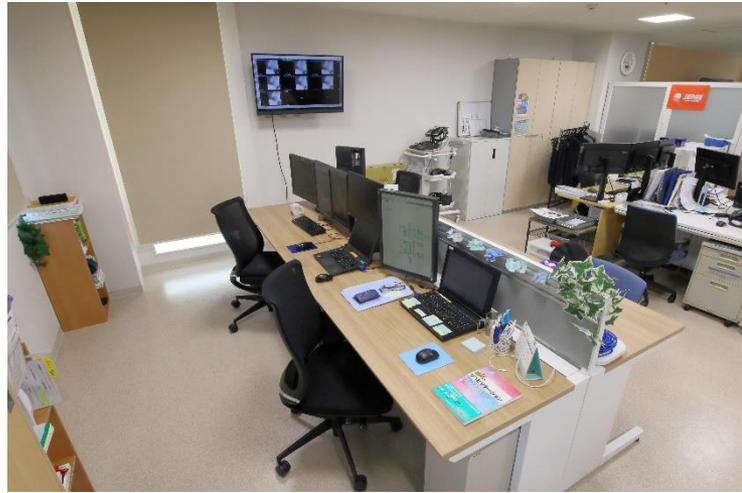
エコーを使用してのポツリヌス治療



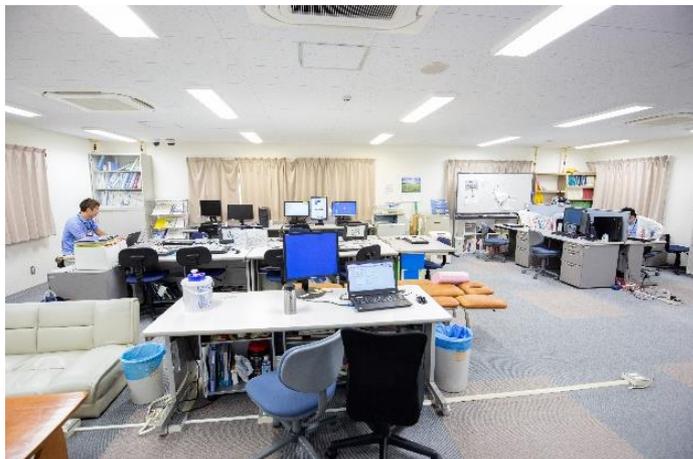
勉強会

# リハ科医師オフィス

- 亀田総合病院・亀田リハ病院オフィス
- リハ科医師と療法士が共用のスペースで良好なコミュニケーション



亀田総合病院リハオフィス



亀田リハ病院オフィス

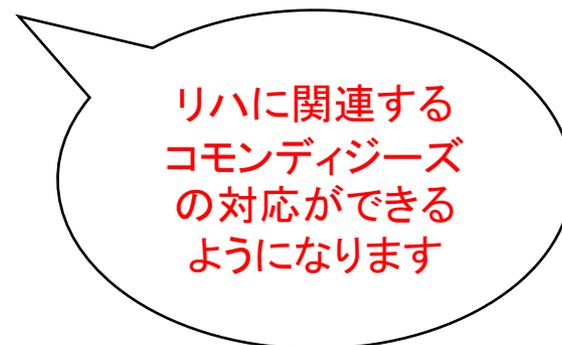
いい仕事に必要な  
快適な環境

# 多彩な指導医・上級医が所属

- 日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医
- 以下の専門医・認定資格をあわせ持つ指導医・上級医が所属

- 日本整形外科学会 整形外科専門医
- 日本整形外科学会 脊椎脊髄病医
- 日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医
- 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医
- 日本義肢装具学会 義肢装具専門医
- 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
- 日本臨床栄養代謝学会 認定医
- 日本病院総合診療医学会 認定医

- 他科からの転科医師も複数
  - 整形外科
  - 耳鼻咽喉科
  - 脳神経外科
  - 小児科



NEW



# 指導医の専門分野・研究テーマ

- 運動器リハビリテーション
- 高齢者リハビリテーション
- 内部疾患のリハビリテーション
- がんリハビリテーション
- 小児リハビリテーション
- 嚥下障害
- 臨床栄養
- 転倒対策
- 合併症管理
- 医療安全
- 病院経営
- 医療の品質管理
  
- そのほかにも指導可能です

国内年間新規  
発症症例  
脳卒中30万人  
がん100万人

がんリハはこれから  
メジャーな分野  
になっていきます

将来部門管理者  
になった際に有用  
な知識になります

通常のリハ診療  
以外にも様々な  
研修が可能です

# 連携・関連施設

- 連携施設(リハ学会指導医常勤)
- 千葉大学医学部附属病院
- 東北大学病院 **NEW**
- 千葉県千葉リハビリテーションセンター
- 千葉徳洲会病院
- 亀田リハビリテーション病院
- 近森リハビリテーション病院 **NEW**
- 坂総合病院 **NEW**
- 長町病院 **NEW**

- 関連施設(リハ学会指導医非常勤)
- 安房地域医療センター
- 障害児者医療福祉施設ソレイユ川崎

- それぞれの特色ある研修が可能
- ローテーション期間などご希望により調整が可能

リハ専門医に必要な  
十分な経験が可能

2023年度追加！

2024年度も  
増える予定！

# 連携施設研修内容

## 千葉大学附属病院

〈急性期リハビリテーション業務〉新患の診察・リハ処方・コンサルト対応

- ・周術期リハ症例が豊富
- ・心臓リハ(補助人工心臓含む)や臓器移植後患者のリハ
- ・ICU回診
- ・筋電図検査

## 千葉県千葉リハビリテーションセンター

〈回復期リハビリテーション業務〉回復期患者の主治医となり病棟業務

- ・脊髄損傷・高次脳機能障害の復職・運転再開などの症例が豊富
- ・重症心身障害児者病棟での研修も可能
- ・ボトックス

# 関連学会も積極的に参加

- 発表実績(主演者)
- 日本リハビリテーション医学会
- 日本整形外科学会
- 日本臨床栄養代謝学会
- 日本脳卒中学会
- 日本緩和医療学会
- 日本がん治療学会
- 日本脊髄障害医学会
- 日本医療マネジメント学会
- ISPRM: International Society of Physical and Rehabilitation Medicine
- AOCPRM: Asia-Oceanian Conference of Physical & Rehabilitation Medicine
- ESC: European Stroke Conference
- ASPEN: American Society for Parenteral and Enteral Nutrition
- ESPEN: European Society for Clinical Nutrition and Metabolism
- SICOT: Société Internationale de Chirurgie Orthopédique et de Traumatologie
- WCIM: World Congress of Internal Medicine
- IBIA: International Brain Injury Association
- ESSD: European Society for Swallowing Disorders
- など多数

法人として学会活動を推進  
主演者は旅費支給

リハ部門のデータベースも充実  
統計処理、抄録作成の支援



ASPEN、WCIMでは  
優秀演題賞受賞

# 関連書籍の執筆活動

執筆活動には若手も参加  
→ 知識の整理

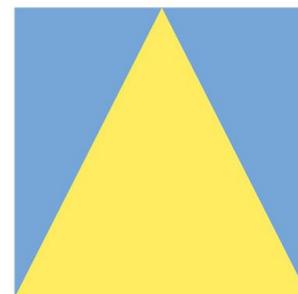
- 療法士・若手リハ医向けの書籍執筆
- リハビリテーションリスク管理ハンドブックは**第4版**



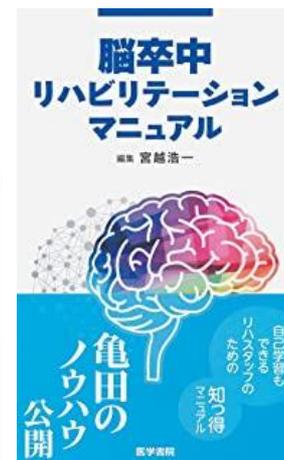
PTOTST 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士向け 3冊

## 画像評価

編集 宮越浩一



医学書院



# エビデンスに基づくリハビリテーション診療を推進

- 各種ガイドライン委員を担当した指導医が在籍

- 現職

- 日本リハ医学会 診療ガイドライン委員会 副委員長
- 日本リハ医学会 感染対策指針策定委員会 委員長

- 歴任

- 日本リハ医学会 安全管理・推進のためのガイドライン策定委員会委員長
- 日本リハ医学会 がんのリハビリテーション診療ガイドライン策定委員会委員
- 日本癌治療学会 がん診療ガイドライン リハビリテーション分科会委員

EBMを  
わかりやすく  
日常臨床に  
応用します



# NST (Nutrition Support Team) と密接に連携

- リハ科指導医がNST委員会委員長兼任(日本臨床栄養代謝学会・認定医)
- 亀田リハ病院でもNST活動を強力に推進
- 効果的なリハには栄養管理が必須

希望があれば  
JSPEN認定医も  
取得可能!



NST委員会風景



多職種での嚥下回診



# 亀田プログラムの特徴

現在5名が研修中！

- 多様な施設群での研修
- 大学病院、公立リハセンターも研修施設に含まれる
- 急性期～回復期～生活期を通じてシームレスな診療(鴨川地区)

- 豊富な症例
- 専門医取得に必要な症例は網羅可能
- 他では研修しにくい疾患も経験可能
  - 小児(NICU～成長まで継続してフォロー)
  - がん(特に血液がん、稀少がん、進行がん)

- 民間病院ならではの柔軟性
  - 希少！
  - 個別のご要望に可能な範囲で対応します



公益社団法人  
日本リハビリテーション  
医学会 THE JAPANESE ASSOCIATION  
OF REHABILITATION MEDICINE

日本リハビリテーション医  
学会の広報に取り上げら  
れました

<https://www.jarm.or.jp/interview/student/04/index.html>

民間病院機関ならではの  
メリットがたくさんあります

# ストレスの少ない研修

- 垣根のない交流(リハでは特に重要)
  - 診療科間のコミュニケーションが良好
  - 職種間のコミュニケーションが良好
  - リハビリテーション部門内のコミュニケーション良好
  - オフィスは共用
- プライベートも(当然)重視
  - 週休2日
  - **リフレッシュ休暇**(旅行趣味の先生多いです)
  - 飲み会・その他のイベントは自由参加(**公私を明確に分けます**)

患者さんのQOL向上を考えるためには、  
職員のQOLも高くなくてはなりません



# 研修スケジュールと到達目標

## • 1年次

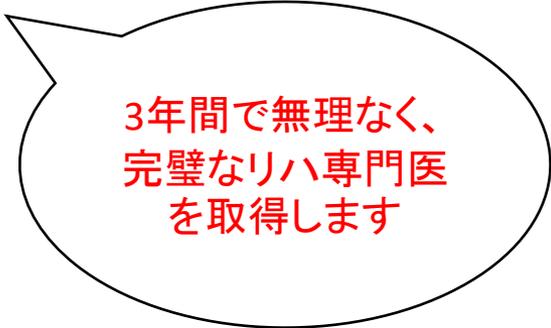
- 主に亀田総合病院・亀田リハビリテーション病院(および他院ローテーション)
- 指導医とともに回復期リハ病棟入院患者担当
- 指導医とともに急性期病院のコンサルト対応

## • 2年次

- 主に他院をローテーション
- 特色ある連携病院での研修で知識や経験を蓄積

## • 3年次

- 主に亀田総合病院(または他院ローテーション)
- 急性期病院のコンサルトに単独で対応
- 応用的な課題に対応できる能力を身に着ける
- 療法士の指導も一部担当
- 専門医の取得をめざす



3年間で無理なく、  
完璧なりハ専門医  
を取得します

# 研修終了後の進路

- **研修修了者 12名**（2009～2022年）

- 亀田グループ継続勤務 3名
- その他、各地で活躍
  - 東海大学リハ医学
  - 近森リハ病院
  - 埼玉県立総合リハセンター
  - 岩砂病院(岐阜県)
  - など

地元復帰も支援します  
ご希望の病院の紹介も可能です

- 研修終了後もご希望に応じて継続勤務可能
- 出身地など他地域でも勤務も可能(紹介もできます)
- 学位取得希望があれば関連する大学への紹介も可能

リハ医の勤務形態  
は様々です  
途中での進路変更  
にも対応可能です

- 将来の進路を事前にお知らせ頂ければ、研修プログラムを調整可能

- 勤務医継続(急性期・回復期・生活期)
- 教職・研究(大学)
- 開業(実家の継承・新規開業、病院、診療所・訪問診療対応など)
- 家庭両立(法人として子育て支援に力を入れています)

# これからの取り組み 研修プログラムのアップデート

- 連携病院の充実
- 他プログラムとの合同勉強会など
- そのほか
- 法人のポリシー：Always Say Yes!

皆さんの参加が、  
大きなアップデート  
につながります



# 最新情報はこちら

亀田総合病院リハビリテーション科ブログ

[http://www.kameda.com/pr/rehabilitation\\_dr/](http://www.kameda.com/pr/rehabilitation_dr/)



お気軽に  
お問い合わせください

 亀田メディカルセンター 研修サイト

[http://www.kameda-resident.jp/senior/program/bk\\_etc07.html](http://www.kameda-resident.jp/senior/program/bk_etc07.html)